

第3回オンラインミーティング(10/23)参加者アンケート結果一覧

通番	質問1						
	満足度	良かった点・悪かった点					
1	満足	個人的に、しっかり準備をして(事前資料や他市事例などを調べた上で)ミーティングに臨むことができたので満足している。また他の人の、図書館に関わる自身の経験に基づいた意見や、自分は思いつかなかった角度からの指摘を聞くことができ、参考になった。					
2	満足	図書館事業費の内訳の推移の資料が示されたのは良かったです。内訳の25%のDATA不足は残念でしたが、参加者の過半の賛成を得て、資料の追加が決まって良かったと思います。					
3	やや満足	中央図書館と地域図書館との役割などについて、少し意見が交わせたように思います。					
4	やや満足	第1回よりも話がしやすかった。また、当方の意見に反論する人もいなかった。					
5	やや満足	フリートークの時間が作られた事は、とても良かったと思う。					
6	やや満足	最初からブレイクアウトセッションで話し合えたおかげで、充実した議論を行えたと思います。一方でトピック2があまりに抽象的なテーマ設定だったため、私も含めみなさんも戸惑っていました。					
7	やや満足	事前記入用紙に書かれた問いかけが、トピック1は論点が多すぎ、トピック2は抽象的で議論が深めにくかった。もともとのテーマ「中央図書館を中心としたネットワーク構築」ということを、しっかり踏まえるべきだったのに、トピックに悩んで、そこを忘れてしまっていた(←私自身の反省)。事前記入用紙や次第にテーマも書いてもらった方が、考えやすかったかも。					
8	やや満足	課題をあらかじめ考えてみようと思いましたが、かなりハードルの高いテーマでした。そのあたりで、ちょっとついて行けていない気持ちが、満足へ足りないところです。					
通番	質問2						
	進め方	ご意見・ご要望					
1	良い	進め方、参加されている方のことも認識できるようになっており、安心感をもって、意見を聞き、自分の意見も遠慮なく話せるようになりました。どうあれば、ベストかわからないですが、良いというところに位置付けました。					
2	良い	図書館総研さんが発言を促してくださったり、意見をまとめてくださったりしたので良かったと思います。					
3	良い	-					
4	どちらかと言えば良い	大画面に全参加者が映し出される訳でもないのに、発言に対する個々のリアクション(表情など)が分からない状況下で、進行がスムーズに進められていたと思う。					
5	どちらかと言えば良い	オンラインで、このテーマの話を深める難しさをさらに感じています。オンラインミーティングの「進め方」の問題ではない感じがしています。ただ、今回の連続オンラインミーティングは、コロナ禍での試行として価値があります。今後、さらに多くの市民や関係者を巻き込んで、話し合う場づくりをしていくスタートにされるとよいのではないのでしょうか。					
6	どちらかと言えば良い	グループセッション方式になってから意見のやり取りがしやすくなって良いと思う。これはどうしようもないのかもしれないが、内容に対して、時間が短すぎる。後で言いそびれた意見をアンケートで書けるが、それでも、時間オーバー気味。ミーティング後の自由会話時間もなかなか始まらず、押した上に短時間になってしまった(おまけの時間とはいえ残念)。					
7	どちらかと言えば良い	別のグループでどんな意見が出たのか、ミーティングが終わらないと分からない点は少し残念である。グループセッション後、一度全体で集まって司会が各グループの意見を紹介し、少しの時間全体で討議しても面白いのではないか。(それならばフリートークに参加せよという話かもしれない)					
8	どちらかと言えば悪い	-					
質問1 集計結果	満足	2	質問1：満足度 	質問2 集計結果	良い	3	質問2：進め方 
	やや満足	6			どちらかと言えば良い	4	
	やや不満	0			どちらかと言えば悪い	1	
	不満	0			悪い	0	
	合計	8			合計	8	

通番	質問3 発言できなかったご意見等
1	どこに何が…というところで、現在図書館施設がない空白地域を中心にサービススポットや、分館、移動図書館のステーションを考えるなど、全市に平等にサービスがいきわたるような工夫があればよい。またその際、人口密度や年齢層、職業、地域の特性を考慮して、規模や持たせる機能を考えると良いと思う。
2	中央図書館は、さまざまな公益的かつ集約的な機能が求められます。限られた予算内で、豊中市民にとって便利で豊かな暮らしを支える図書館になるために、もっとたくさんの議論を深めないといけないですね。対し、地域図書館は、市域から見た役割や機能と共に、その地域に応じたあり様や特徴をもっと主張したものであってよいと考えます。学校や公民館等との更なる連携も欠かせないと思います。
3	①ミーティング内で大阪府立中央図書館による1つの支援だけを挙げ、実務的資料や不読率改善への支援が必要ではないかと発言しました。もちろん、大阪府立中央図書館は、このほかにも、学校司書を対象とした勉強会を行っています。図書館を使った授業支援法をはじめとした幅広い講習内容は、現場でも役立っています。ミスリードになってはならないと思い、ここに補足させていただきます。 ②デジタルデバイドは、世代的障壁・経済的障壁・管理運用能力的障壁・肖像権等への感覚的障壁などがあると思います。病院の自動会計システムと同様、使える人にはどんどん使って貰えるよう設備を整え、当分は、既存のアナログ的システムも併置しておく。経年の利用者数の増減から、その設置割合を適宜調整すれば良いと考えます。つまりは、デジタルレファレンスや自動貸出機など、どんどん進めていけば良いと思います。そうでなければ、消極的な自治体だけ取り残される気がします。
4	・1人当たり2,000円の目標を達成するまで中央図書館の建設に着手できないのですか。 ・次の資料を次回全員に配布して下さい。 建て替え時期に差し掛かっている施設が多いことが理解できます。 「豊中市公共施設等総合管理計画(平成28年度(2016年度)策定)」p35 <a href="https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/saiken/20190627202450316.files/04_sougoukeikaku.pdf">https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/saiken/20190627202450316.files/04_sougoukeikaku.pdf</a> ・今回のMEETING終了後、図書館全般に関する意見を述べたい際は、岡町図書館長-読書振興課長に申し上げますれば良いのですか。
5	あえて発言はしませんでした。新聞記事等のコピーを送付するのは、著作権法第三十条の私的使用に該当せず、著作権法に違反します。また同法(図書館等における複製等)第三十一条にも該当しないと思います。 ※ 知的財産管理に関する国家資格を有しています。
6	思ったことを、厚かましく、発言させていただいています。
通番	質問4 参加されたご感想等
1	次回が最終回となるのが残念ですが、今回のように事前資料等しっかり調べた上で臨みたいと思います。
2	参加者がグループに分かれて議論する方法に慣れてきて、議論が活発に行えて良かったと思います。
3	2回目参加できなかったが、提供された資料を読んでいたの、スムーズに参加することが出来た。当初の13人から出席者が減っているように思えた。 グループセッションも4名程度で、司会の方がうまくまとめられたので、良かったと思う。 話題が、庄内にシフトしているようにも思えた。
4	今回は時間の都合上、フリートークには参加できませんでしたが次回はできれば参加したいと思います。今回もいろいろな意見に触れることができ、勉強になりました。
5	私は、なかなか上手に意見を言えないのですが、私の言いたいことを代弁してくれるかのように、わかりやすく意見を言って下さる方がいて、とてもうれしいです。もっとしっかり、発言の準備をして、わかりやすく話せるよう努力したい。
6	今回から、よりはっきりしてきたことなのですが、一市民として、中央図書館設置計画を知り、これから、長期的、継続的に、図書館を考え、図書館づくりをしていくことが大事と思いました。
7	このミーティングが、豊中で「図書館の未来を考える」ムーブメントになることを期待します。市域内外問わず、あちらこちらで、地元の図書館がこうならいいのに、と考えたり、意見を交わせる文化づくり(協働の文化づくりのように)が必要かもしれません。子どもたち、若者たちの話し合いの場づくりもできるとよいですね。